平成３１年度の学校経営について

大仙市立大曲中学校　校長　沢屋　隆世

平成３１年度　大曲中学校　学校教育目標

一人一人が「よく生きる」豊かな学園の創造

合い言葉　「共働・共励」　「共鳴・共感」

＜こんな学校に＞

・生徒数７７０名，学級数２８県内一のスケールメリットを生かし，生徒の力を結集し，一人一人が生き生きと活動する躍動感のある学校を目指します。

・校訓「よく生きよ」に向かって，合い言葉「共働・共励」「共鳴・共感」の精神で，生徒も教師も共に考え，共に行動しながら，心がかよう温かい学校を目指します。

＜こんな生徒に＞

・「よく生きる」は有史以来人類が問い続けてきた大きな課題であり，永遠のテーマです。本校の教育では，自己を見つめ生涯にわたって「よく生きる」ことを求め，努力し続けようとする生徒を育むことにその目標があると考えています。

・これからの社会で生きていくために

グローバル化や情報化の進展など社会が急速に変化する中にあって，特に，人と関わる力を育み，知的好奇心に満ちた生徒を育成することが課題となっています。

そのため，「生きて働く知識・技能」「未知の物事に対応するための思考力・判断力・表現力」「学びに向かう人間力」の新たな時代に必要となる資質・能力をさらに育成していくことが求められています。

◎そこで…育成したい資質・能力　＝　全ての教育活動で育成していきます

＜知識・技能＞

〇獲得した知識・技能を実社会や実生活，課題解決に生かすことができる生徒

＜思考力・判断力・表現力＞…今年度の重点

◎自ら課題を設定し，課題解決に向けて他者と協働しながら新たな考えを創造しようとする生徒

＜学びに向かう力・人間性＞

〇「よく生きよ」を自ら問い，共に考え，地域のために貢献しようとする生徒

＜実現に向けて，今年度，重点的に実施していくこと＞

１　生徒会活動の充実

全教育活動において生徒が互いに励まし合って切磋琢磨していこうとする機運を高めます。特に，生徒会活動を機能させ，学級，学年，全校が活力に満ちた自主的な活動を展開しながら，自分たちの力で楽しい学級，住みよい学校を創造させていきます。

２　ふるさと教育を軸としたキャリア教育の充実

家庭，地域や関係諸機関の理解と協力を得ながらそれらとの連携を図り，学校の活力を地域の元気づくりに生かしていきます。そのため，種々の機会を捉えながら地域に積極的に関わり，総合的な学習の時間を充実させ，ふるさと教育を軸としたキャリア教育の一層の推進を図っていきます。

３　各教科等の本質的な学びを踏まえた主体的・対話的で深い学びにつながる授業改善と研修の充実

生徒の思考を活性化し、深い学びにつながるよう授業を中心に工夫改善を進めていきます。